



宮川小児童がひまわり荘を訪問し、
高齢者と交流しました（3月15日）

●主な内容

平成18年度当初予算	P 2
「介護保険制度」が変わります	P 6
村上市長所信表明	P10
快適な暮らしは「下水道」から ..	P16
「コミュニティ助成事業」で整備	P17
食文化館だより	P18

広
報

おばま

4

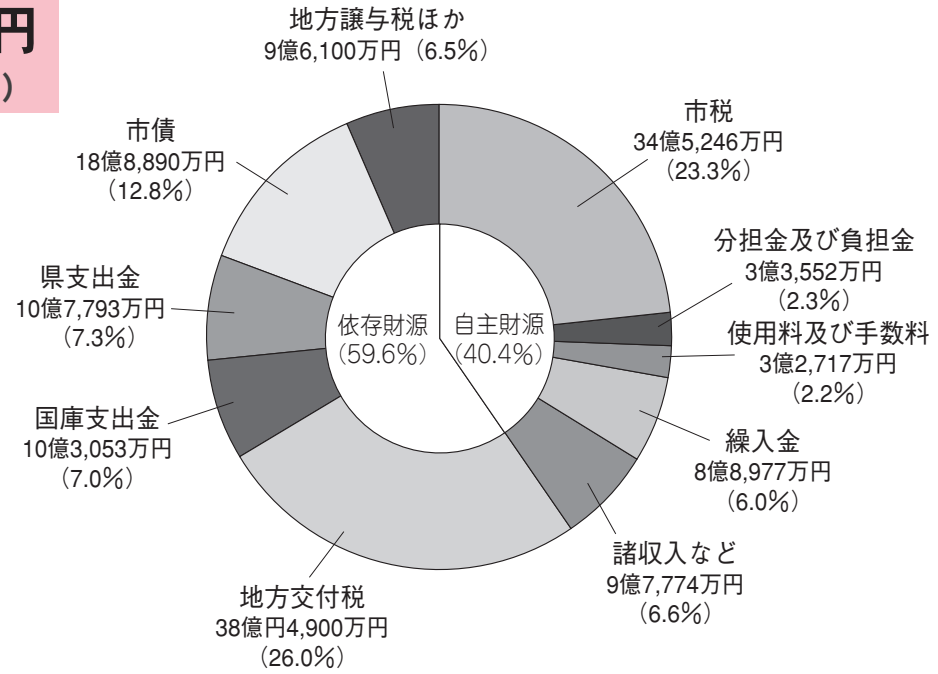
2006
No.628

将来の礎を築くための胎動の年

平成18年度の当初予算がまとまりました。一般会計、特別会計、企業会計の総額は280億1540万円（前年度比九・一％増）。「重点枠」「特別枠」「活性化枠」に加え、新たに「市民提案枠」を設け、財源を効率的・重点的に配分しました。

お問い合わせ 財政課 内線334へ

歳入



当初予算の特徴

平成十八年度から、「小浜小学校」や「リサイクルプラザ等施設」の建設が本格的に始まります。

これにより、中長期財政計画で定めている通年ベース以上の市債（借金）の発行が必要になります。また、介護保険・国民健康保険・老人医療の各社会保障関係経費の増加も見込まれるため、よりいっそうの財政健全化に向けて取り組んでいかなければなりません。

そのため、市民の皆さんとの役割分担などを明確にし、事業の緊急度、優先度を十分に考慮するとともに、多様な行政需要に的確に対

応できるよう限られた財源を重点的、効率的に配分し、「身の丈財政」宣言に基づいた予算編成を行いました。

主な事業は四〇五ページに掲載してありますが、これまでの「重点枠」「特別枠」「活性化枠」に加えて、新たに市民の皆さんのアイデアを直接予算に反映させる「市民提案枠」を設置し、六事業・計五二三万円を予算

予算とは

一般の家庭では、給料などの収入で食費や光熱水費などの支出を賄います。「今月の給料はいくらで、出費はこれくらいになりそう」

と、毎月の収支計画を立てるのではないのでしょうか。

市では、四月から翌年の三月まで一年間の計画を立てます。それが予算です。

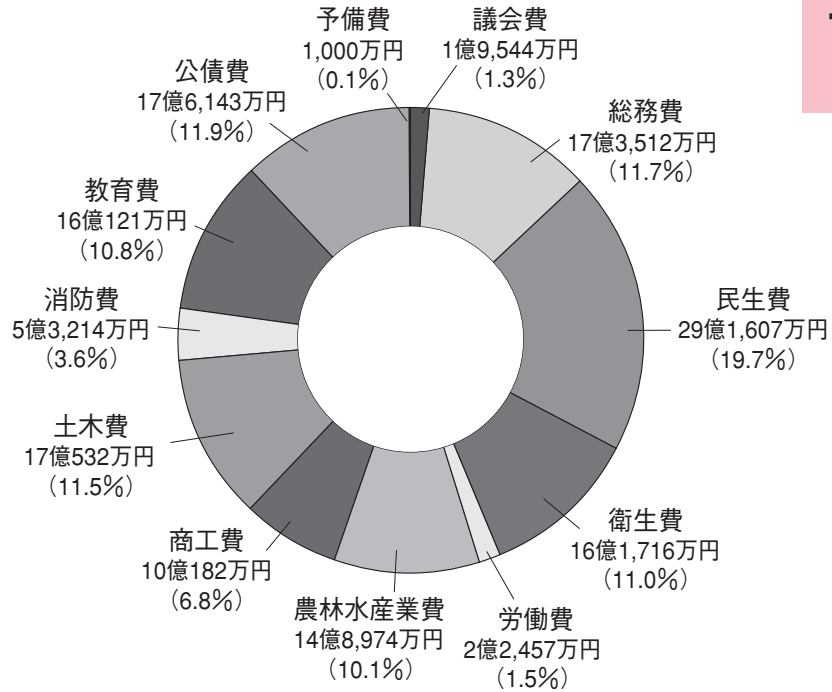
まず「皆さんからの税金はこれぐらい、交付税はいくら」と使うことのできるお金を計算します（歳入）。次に、仕事に必要なお金を計算し、歳入の範囲内で調整をします（歳出）。

予算は、このようにして作られます。

詳しく知りたい人は：
市公式ホームページ「情報便利帳」の市政に関する情報をご覧ください

平成18年度一般会計 147億9,002万円 (対前年度比 11.6%増)

歳出



三つの会計があります

市の予算は、一般会計、特別会計、企業会計から成ります。

一般会計は、行政運営の基本的な経費を計上し、市の予算の約半分を占めています。

特別会計は、国民健康保険や下水道など、特定の事業ごとに分けたほうが効率的に事業を行えるものを、一般会計から切り離して経理します。

企業会計は、その事業に収益があり、支出を収益で賄うもので、上水道と小浜ロジがこれに当たります。

平成18年度会計別当初予算

会計名	18年度当初予算	前年度当初予算	増減率
一般会計	147億9,002万円	132億4,793万円	11.6%
特別会計	122億3,781万円	114億782万円	7.3%
国民健康保険	30億2,226万円	27億9,488万円	8.1%
加斗財産区	3万円	3万円	0%
簡易水道	8,821万円	9,137万円	▲3.5%
駐車場	2,695万円	3,203万円	▲15.9%
老人医療	35億4,133万円	32億150万円	10.6%
下水道	27億2,824万円	25億5,416万円	6.8%
農業集落排水	4億1,394万円	4億8,433万円	▲14.5%
漁業集落環境整備	6,941万円	7,259万円	▲4.4%
介護保険	23億4,744万円	21億7,693万円	7.8%
企業会計	9億8,757万円	10億1,855万円	▲3.0%
国民宿舎	1億1,168万円	1億2,781万円	▲12.6%
水道	8億7,589万円	8億9,074万円	▲1.7%
合計	280億1,540万円	256億7,430万円	9.1%

※数字は端数調整してあります

用語解説

- 自主財源
市税や施設使用料など、市が自主的に調達するお金。歳入全体に占める割合が多いほど安定した行政を行うことができます
- 依存財源
地方交付税や国庫支出金など、国や県から入ってくるお金。市債（借金）も含まれます
- 市税
皆さんに納めていただく市民税や固定資産税、軽自動車税など
- 地方交付税
どの地方公共団体も一定水準の事業を行えるよう、財政力に応じて国から交付され、用途が限定されないお金
- 国庫（県）支出金
地方公共団体が行う事業に対し、用途を限定して国や県から交付されるお金
- ▶総務費
課税徴収、防災、戸籍住民基本台帳費など、市の総括的な事業に使うお金
- ▶民生費
障害者福祉、老人福祉、児童福祉など福祉全般に使うお金
- ▶衛生費
医務保健（老人保健、母子保健）や環境保全、ごみ処理などに使うお金
- ▶農林水産業費
農業、林業、水産業全般の事業などに使うお金
- ▶土木費
道路、河川、公園の整備や維持管理などに使うお金
- ▶公債費
市債（借金）を返済するお金

誇りある人づくりと文化振興

- ・ふるさと文化財の森センターの施設維持経費など 387万円
- ・歌人「山川登美子」の生家を記念館とする整備経費 2,105万円
- ★通学安全パトロール隊の活動推進、緊急時のメール連絡網の整備 59万円
- ★中学生の数学・英語のレベルアップ事業 414万円
- ・小中学校のふるさと学習の推進 216万円
- ★小中学校の小破修繕に必要な原材料費を支給 280万円
- ・小中学校でのコンピューターによる情報教育の推進 2,757万円
- ★若狭和紙で児童自身が卒業証書を作製 110万円
- ・小浜小学校建設費(全体事業費の40%) 5億3,345万円
- ★青年組織の立ち上げなどに対する補助 10万円
- ★モデル地区公民館で土曜スクールを開催 40万円
- ・郷土の偉人を顕彰 180万円
- ・市内の指定文化財修理に対する補助 1,197万円

美食の郷・食のまちづくり

- ・韓国慶州市で開催される「酒と餅まつり」への参加・市民使節団の派遣 131万円
- ★「食育・食文化の祭り」に姉妹都市、友好都市を招待 167万円
- ★友好都市（西安市と富士宮市）に市民使節団を派遣 285万円
- ・ボランティア・市民活動団体の育成補助 45万円
- ★地域ブランドを確立させるための経費 204万円
- ・御食国若狭おばまを市外、県外へ広くPRするためにグルメツアーを実施 359万円
- ★市制施行55周年、食のまちづくり条例制定5周年記念イベント 6,500万円
- ・御食国大使、ふるさと料理を楽しむ会などの経費 293万円
- ★「命のかたち」展、食のまちづくり推進大会など 608万円
- ★キッズ・キッチン（幼児対象）などの食育推進 199万円
- ★食の教育推進や学校給食への地場産食材の活用推進 216万円

健全な財政と市民の行政への参画

- ◎八百比丘尼伝説縁起の看板と名所旧跡への道標を設置する経費の補助 100万円
- ◎小浜・敦賀間に快速電車を試験運転し、市民試乗のモニターツアーを実施 95万円
- ◎高齢者を住民で支えあうネットワークづくりの推進 100万円
- ◎夜間保育（安心して働ける子育て環境を支援）の実施 127万円
- ◎妊婦や乳児を中心に実施する子育て教室に対する助成 54万円
- ◎食を育むふるさとの森林再生事業に対する補助 47万円
- ・いきいきまち・むらづくり支援事業に対する補助 602万円
- ・行政評価事業 13万円

拉致被害者等支援

- ・帰国拉致被害者の社会適応指導、生活相談など 971万円
- ・拉致問題、特定失そう者問題の早期解決に向けた支援 64万円

どのように 予算は使われるの？

～重点的に予算配分した事業を紹介～

（★は特別枠・重点枠・活性化枠、◎は市民提案枠、赤字は新規事業です）

- ▶特別枠 …食のまちづくり推進のために必要な事業。
- ▶重点枠 …社会経済情勢の変化、多様化する市民ニーズに応えるために重点的に取り組む事業。
- ▶活性化枠 …自然・海・食・歴史・文化を生かした事業を展開し、市の活性化を図る事業。
- ▶市民提案枠 …市民提案制度により、市民と市との協働によるまちづくり事業。



寄贈していただいた山川登美子関連の遺品を生かします



景観計画を策定して歴史ある町並みの保全を図ります



キッズ・キッチンなど食育事業を推進します



コウノトリを戻すために農村環境整備を行います



小浜線に快速電車を試験運転します



乳幼児医療費助成を充実させます

産業、生活の基盤づくり

- ・琵琶湖若狭湾快速鉄道整備早期実現のための積立金 8,750万円
- ・JR小浜線の日帰り往復切符購入者に対する小浜駅前駐車場の無料措置 49万円
- ・集落コミュニティ施設の整備に対する補助 750万円
- ・若狭西街道整備に係る負担金 2億7,417万円
- ・市道間谷線・府中線の整備 1億1,920万円
- ・水取大橋整備に係る負担金 2,250万円
- ・小浜縦貫線（住吉～酒井）整備に係る負担金 1億円
- ★歴史ある町並み保全や貴重な自然の保護のための景観計画策定 350万円
- ・山手小松原線・臨港線の整備 8,677万円
- ・舞鶴若狭自動車道工事用道路の整備 2億966万円
- ★住宅取得資金支援事業 48万円

活力ある産業・観光づくり

- ・雇用推進対策事業 156万円
- ・新規雇用者数を拡大した事業者に対して奨励金を交付 10万円
- ・特産作物の推進および水田の高度利用などの補助 1,290万円
- ・農業生産組織などが機械施設を導入する経費の助成 1,862万円
- ・産地再生を目指す営農集団の施設整備を支援 1,336万円
- ・コウノトリを戻す農村環境整備 333万円
- ・生産性向上と農村活性化のための生活環境整備 1億3,053万円
- ・松くい虫の被害対策・ナラ枯損被害対策 407万円
- ★漁村と地域資源を活用した都市漁村との交流を促進 54万円
- ・漁港施設整備（阿納・犬熊） 1億4,721万円
- ・新たな事業分野の開拓などを行う事業者に対する補助 240万円
- ・空き店舗、空き工場などを活用する事業者に対する支援 83万円
- ・企業進出に対応するための企業用地の造成 1億7,082万円
- ★夏から秋にかけて活性化イベントを実施 2,100万円
- ★映画、テレビドラマなどのロケーション撮影を誘致 45万円

心やすらぐ福祉・環境のまちづくり

- ・防災体制を拡充 648万円
- ・福祉タクシーの利用料金を助成 125万円
- ★障害者福祉計画を策定 339万円
- ・ひとり暮らし老人に対する悩みごと相談 67万円
- ★乳幼児医療費助成事業（小学校就学前の2子以下世帯に対する拡大分を含む） 4,550万円
- ・子育てマイスターを活用した育児相談 13万円
- ★不妊治療に要する費用の一部助成 30万円
- ・火葬場新設に向けてのPF1手法導入経費 10万円
- ★各区のごみ集積所の新設、改造にかかる経費の補助 54万円
- ・リサイクルプラザなどの施設建設費（全体事業費の20%） 4億2,661万円